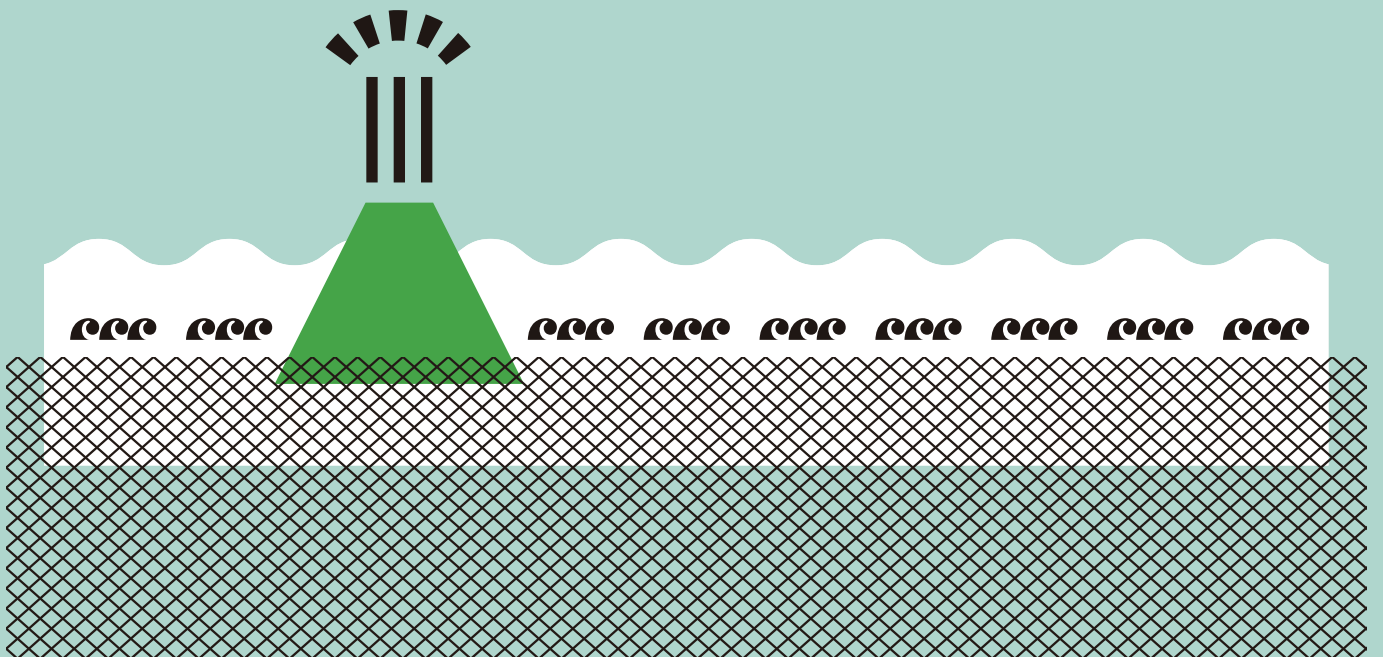


ほっかいどうの防災教育

道民みんなで取り組む災害に強い北海道

“実践編”



はじめに



～道民みんなで取り組む災害に強い北海道～

豊かな自然あふれる北海道。

私たち道民は、自然の恩恵と災害の二面性を理解し受け止めながら、この大地で暮らしています。いつでもどこでも直面する可能性がある、さまざまな災害に際して、「いのちを守りぬく人が育っていく」ためには子どもたちからお年寄りまで、あらゆる世代の道民による防災活動の輪が、日常の暮らしの中に広がっていくことが大切です。

防災教育は、難しいことばかりでも、堅苦しいことばかりでも、限られた人のためのもではありません。災害に正しく向き合い行動できるようになるためには時に真剣に、時に楽しみながら、家庭で、地域で、学校で、職場で、いろいろな場面で防災について学び親しむ機会が増えるような北海道をつくり、次の世代へ確実に引き継いでいくことが大切です。

東日本大震災をはじめ、多くの災害を経験したこの時代を生きる私たちの使命として、ぜひ一緒に取り組みを進めていきましょう。

このテキストの活用について

このテキストは、「知識編」と「実践編」で構成されています。



●知識編

個人の学習から、さまざまな防災教育の場面まで、幅広い活用を期待しています。「地震」「津波」「火山噴火」「風水害」「雪害」などの各自然災害ごとに、そのしくみや、平時からの備え、災害発生時や発生後にとるべき行動、北海道において過去に起きた災害事例などを掲載しています。



●実践編

市町村職員や消防職員などの防災関係者、学校や地域の防災リーダーなど、防災教育を企画し実践する方々への幅広い活用を期待しています。防災研修など防災教育の企画の進め方やポイント、モデルカリキュラム、各地で実践されているさまざまな形の防災教育の事例などを掲載しています。

また、このテキストの補助教材としてDVD（知識編／実践編）を作成したほか、さまざまな防災教育情報を集めたポータルサイト、フェイスブックを開設しています。これらの情報を効果的に組み合わせ、地域の防災教育の実践に活用してください。このテキストの内容は、平成26年3月現在のものです。気象情報の基準等は随時確認してください。



目次

ほっかいどうの防災教育

【実践編】

I	ほっかいどうの防災教育	
	1. 北海道の豊かな自然と防災教育	2
	2. 防災教育推進の背景と必要性	4
II	私のまちの防災教育を企画しよう	
	1. 企画の進め方	6
	2. 防災教育の多様なメニュー	12
	01. 災害・防災学習会	13
	02. 災害図上訓練 (DIG)	14
	03. 防災まちあるき・マップづくり	17
	04. 室内からの避難シミュレーション	18
	05. 避難所運営ゲーム (HUG)	19
	06. 避難所体験・運営訓練	20
	07. 災害対応ゲーム クロスロード	22
	08. 防災運動会	23
	09. シェイクアウト	24
	10. 幼児向け防災教育用カードゲーム「ぼうさいダック」	24
	11. e-ラーニング	24
	3. 防災教育モデルカリキュラム	25
III	防災教育の輪をひろげるために	
	1. 自主防災組織の立ち上げ	32
	2. 地域の防災リーダーの養成と活用	34
	3. いろいろな主体による取り組みをひろげる	36
IV	さまざまな防災教育の実践事例	
	1. 幼少期の子どもを対象とした実践事例	40
	2. 児童・生徒を対象とした実践事例	41
	3. 多様な形で進む防災教育の実践事例	43
V	次の世代につなげるために	
	1. いつも防災	45
	2. 災害伝承	46
参考資料	1. 防災教育に役立つサイト集	47
	2. ポータルサイト「ほっかいどうの防災教育」	48

テキスト【知識編】

- I 北海道の自然と災害
- II 地震に備える
- III 津波に備える
- IV 火山噴火に備える
- V 風水害に備える
- VI 雪害に備える
- VII 防災の知恵



知識編

- チャプター 1 オープニング
～北海道の地域特性編
- 2 地震・津波編
 - 3 地震・津波編
～奥尻島津波語りべ隊
 - 4 火山編
 - 5 風水害編
 - 6 雪害編
 - 7 エンディング



実践編

- チャプター 1 オープニング
- 2 防災教育の事例を見てみましょう
 - 3 防災教育の実施例 (DIG)
 - 4 防災教育の実施例 (HUG)
 - 5 エンディング